物性値

セルフレベリング材としての性能

項目		結果 タフレベラーGプラス	結果 タフレベラーGプラス(薄塗用)	建築工事標準仕様書 JASS15 M-103
比重	スラリー	2.08kg/ℓ	2.08kg/ℓ	—
	硬化体	1.98kg/ℓ	1.98kg/ℓ	—
フロー値		220mm	225mm	190mm以上
圧縮強度	材齢7日	33.4N/mm²	27.4N/mm²	—
	材齢28日	42.3N/mm²	39.3N/mm²	20N/mm²以上
曲げ強度	材齢7日	6.5N/mm²	6.5N/mm²	—
	材齢28日	8.1N/mm²	10.0N/mm²	—
凝結時間	始発	1時間00分	0時間55分	45分以上
	終結	1時間06分	1時間04分	20 時間以内
下地接着強度	材齢14日	3.2N/mm²	3.3N/mm²	0.7N/mm²以上
表面接着強度	材齢14日	3.6N/mm²	3.2N/mm²	0.5N/mm²以上
長さ変化	材齢28日	0.04%	0.04%	0.12%以下
耐衝撃性	割れ はがれ	なし	なし	なし

素地SL材としての性能（表面の耐摩耗性）

項目		材齢28日 2)	紫外線1,000H耐久性 3)
摩耗深さ 1)	タフレベラーGプラス	0.10mm	0.10mm
	タフレベラーGプラス(薄塗用)	0.15mm	0.15mm
	コンクリート仕上げ	0.36mm	—

塗り床下地としての性能（表面強度）

項目		結果 タフレベラーGプラス	結果 タフレベラーGプラス(薄塗用)	塗り床ハンドブック
塗り床材との接着試験 4)	材齢1日	3.5N/mm²	2.7N/mm²	1.5以上
	材齢7日	4.5N/mm²	3.1N/mm²	
引っかき試験 4)	材齢7日	0.25mm	0.28mm	0.3以下が望ましい

注）上記のデータは、建築工事標準仕様書・同解説JASS15 M-103（セルフレベリング材の品質規準）に規定する試験方法に従って測定した自社試験結果です。
1）JIS K 7204（摩耗輪によるプラスチックの摩耗試験方法）に準拠して摩耗深さを測定。 回転数：2,000回転（但し、コンクリート仕上げは1,000回転のデータ） 摩耗輪：GC150H 荷重：250g
2）気中養生：20℃,RH65%
3）促進耐候性試験機メタリングウエザーメーターにて、放射照度0.53kW/m²の紫外線を連続照射（10年相当）
4）接着試験、および引っかき試験のデータは、塗り床ハンドブック（日本塗り床工業会）に規定する試験方法によって測定した自社試験結果。

販売形態

❶ 袋物

種類	タフレベラーGプラス		タフレベラーGプラス(薄塗用)	
荷姿	25kg紙袋(ポリ内袋)		25kg紙袋(ポリ内袋)	
混練水量	5.5ℓ/袋		5.5ℓ/袋	
施工面積の目安	施工厚(mm)	施工面積(m²)	施工厚(mm)	施工面積(m²)
	20	約0.7	5	約2.8
	10	約1.5	2	約7.5



❷ スラリー販売

車両タイプ		10t	8t
通行許可証区分		大型	大型
長さ		830cm	637cm
車幅		249cm	232cm
車高		322cm	316cm
最大積載量		4.0m³／約7,000kg	3.0m³／約5,200kg
混練圧送能力	圧送高さ	30mまで（高さの目安：マンション10階程度）	18mまで（高さの目安：マンション6階程度）
	圧送能力	100mまで（高さも含む）	
	混練能力	約3.5m³／時間	約2.5m³／時間

※薄塗用は除きます。
※年式・車種により多少の差異がありますので、詳細についてはご相談ください。

⚠注意

製造日より2ヶ月以内に使用してください。

- 貯蔵保管はセメントに準じて湿気を避けてください。
- セメント、珪砂等、他の材料を加えないでください。
- 気温5℃未満及び35℃超の条件での施工は、避けてください。

- 取り扱いの際には手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動し、水又は温水でうがいをしてください。
- 目に入った場合：清浄な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合：汚れた衣服や靴を脱ぎ、付着した部分を水又はぬるま湯で洗い流してください。
- 飲み込んだ場合：水で口の中を洗い、直ちに医者の診断を受けてください。

本カタログ記載内容についての注意事項

◆ 本カタログの記載内容は、予告無しに仕様や記載事項を変更する場合がありますので、予めご了承願います。
◆ 本カタログ記載の性能、物性等の諸データ値は、弊社実験による測定値であり、その数値、性能を保証するものではありません。
◆ 製品の性能は、環境条件や使用方法等により本カタログ記載内容と異なることがあります。事前に使用目的に応じた施工テストを行い、製品の適合性と安全性を確認してください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1604017（タフレベラーGプラス） 2306002（タフレベラーGプラス(薄塗用)）
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

MUマテックス株式会社

建材営業部
〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号シーバンスS館10階
Tel: 03-5419-6205 Fax: 03-5419-6269
https://www2.mu-cc.com/ubekenzai/

東京支店 〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号 シーバンスS館10階 Tel: 03-5419-6205
大阪支店 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-5-10梅田パシフィックビル6階 Tel: 06-4309-5826
名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1広小路本町ビルディング5階 Tel: 052-265-5840
広島支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22広島興銀ビル8階 Tel: 082-244-7234
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-12メットライフ天神ビル8階 Tel: 092-781-2309
東北支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3鹿島広業ビル8階 Tel: 022-262-6235
札幌営業所 〒007-0801 札幌市東区東苗穂一条1-2-44 Tel: 011-784-8183

販売取扱店

2026. 1. 3000 Ⓑ

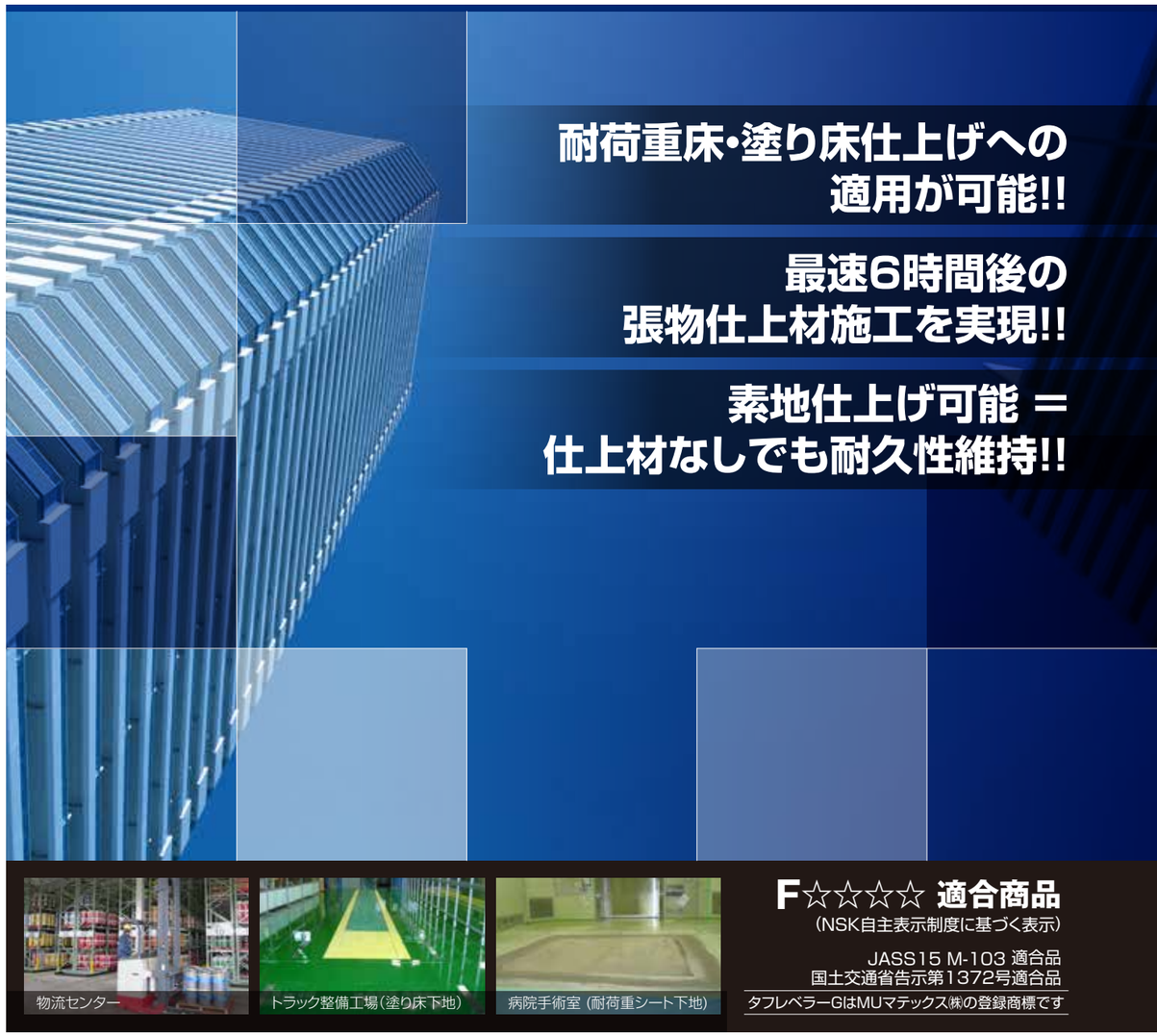
高性能セルフレベリング材

MUCC

高強度・超速硬型 セメント系セルフレベリング材

タフレベラーG+プラス

東日本地区販売品



F☆☆☆☆ 適合商品
（NSK自主表示制度に基づく表示）

JASS15 M-103 適合品
国土交通省告示第1372号適合品

タフレベラーGはMUマテックス㈱の登録商標です

MUCC MUマテックス株式会社

タフレベラーG+（プラス）

重荷重が作用する床下地へ適用できる高性能セメント系セルフレベリング材です。
SLスラリー供給システムと超速硬性の材料特性との組合せにより、短時間で広面積の施工が可能となり、大幅な工期短縮が図れます。

特　長

1 強度(表面硬度)発現性 ▸▸▸ 高強度化・耐摩耗性の向上により、耐荷重床下地への適用が可能となりました。

2 速硬性・速乾性 ▸▸▸ 弊社速硬型SL材のラインナップの中でも最も速硬・速乾であり、標準期において施工後2時間での軽歩行、翌日の仕上材施工が可能です。

3 寸法安定性 ▸▸▸ セメント系材料の弱点である収縮率を規格値の1/3とした超低収縮SL材です。

4 適用仕上げ材の多様化 ▸▸▸ 塗り床材、張物など多種仕上材への適用が可能です。素地仕上げにも使用可能です。(但し、使用方法をご確認ください。)

5 耐久性向上 ▸▸▸ 従来のタフレベラーGに比べて、表面強度の耐久性が一段と向上しました。

用　途

- 工場、倉庫、駐車場、病院オペ室など重量物が作用する床下地工事
- 店舗などの緊急床下地工事
- 塗り床仕上げの床下地工事
- 各種タイル仕上げの床下地工事
- 新築・改修の床下地工事全般
- 駐輪場などの素地仕上げ工事
- 増打ちなどの床かぶり補修工事(薄塗用除く)

※タフレベラーGプラスは屋内使用専用です。

施工厚

タフレベラーGプラス	8～50mm
タフレベラーGプラス(薄塗用)	2～7mm

養生期間の目安 ※耐荷重シート等の特殊シートは含みません。

● タフレベラーGプラス

項　目	20℃以上	10～20℃	5～10℃	5℃未満
軽歩行時間	2時間	4時間	6時間	施工不適当
張物施工※	6時間	12時間	18時間	施工不適当
塗り床施工	24時間以降		48時間以降	施工不適当
素地使用	72時間以降			施工不適当

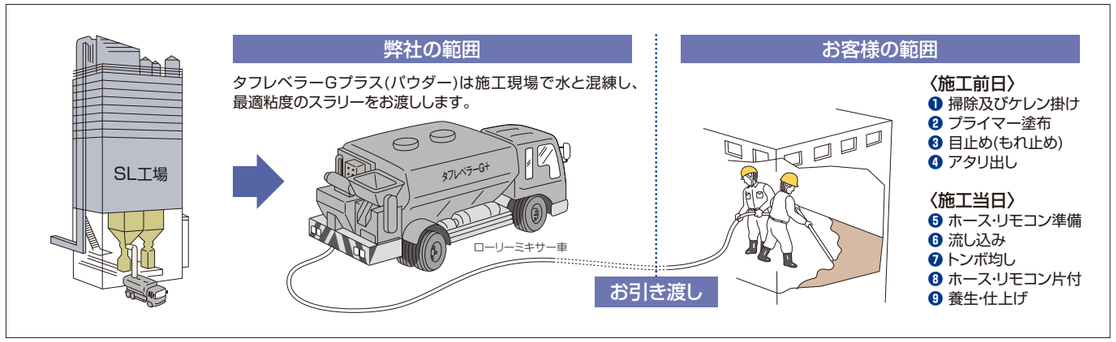
※施工厚10mm、湿度RH65%の場合

● タフレベラーGプラス(薄塗用)

項　目	20℃以上	10～20℃	5～10℃	5℃未満
軽歩行時間	2時間	4時間	6時間	施工不適当
張物施工※	6時間	12時間	24時間	施工不適当
塗り床施工	24時間以降		96時間以降	施工不適当
素地使用	96時間以降			施工不適当

※施工厚5mm、湿度RH65%の場合

SLスラリー供給システム



施工方法

施工計画

施工厚、施工面積、施工回数、施工場所(ローリー車の場合、ホース長・階高)の調査を行い、ローリー車または袋物の選定を行ってください。
材料の可使時間とスラリー供給量との関係を考慮して、流し込み順序、堰の設置等の施工方法について、事前に充分ご検討ください。
なお、袋物の場合は、使用ミキサーの選定、1バッチ当りの混練袋数の検討も同時に実施してください。

使用方法 ※詳しくは、別紙施工要領書を御覧ください。

❶ 下地調整

作業に入る前に、以下の点に充分注意し調整してください。
- モルタルのこぼれ等凸部はケレン棒等で取り除いてください。
- 雨打たれ等のコンクリート表面の脆弱部分は、取り除いてください。
- 改修工事で張物の接着剤が残っている場合は、取り除いてください。
- 床面に油等の染みがある場合には、取り除いてください。

❷ 前処理・プライマー処理

- 床面全体を、掃除機又は和ぼうき等で充分に清掃しホコリを取り除いてください。
- 壁と境界部等に隙間がある場合はモルタル等で漏れ止めを行ってください。
- 仕上げレベルの墨出し・アタリの設置を行ってください。
- 原則として施工前日に、気泡防止・接着力増強のため、UプライマーGIIの希釈液をデッキブラシ・ハケ等で擦り込むように所定量(下表参照)を目安に充分塗布してください。
  プライマー処理には専用のUプライマーGIIを必ずご使用ください。
- 2回目の塗布は、1回目のプライマーが透明になった時点(2～3時間後)で行ってください。

コンクリート・モルタル下地状況	1回目	2回目	塗布量(m²/缶)
金ゴテ押さえ(防水下地程度)	3倍希釈液	—	150～200
木ゴテ押さえ、研削床下地	6倍希釈液	4倍希釈液	100～150
雨打たれ下地、ドライアウト、軽量コンクリート下地	6倍希釈液	4倍希釈液	80～100

※雨打たれ下地等気泡発生の懸念がある場合、事前のテスト施工をお勧めいたします。

❸ 混練(袋物)

- 混練水量は、1袋あたり5.5リットルを厳守してください。
- 混練には、高速ハンドミキサー(1,000回転／分以上)又はSL専用ミキサーを使用し、必ず3分間以上撹拌してください。

❹ 流し込み

- プライマーが乾燥していることを確認後、流し込みを行ってください。
- 墨・アタリを目印に、均等に流し込んでください。
- 施工面積、厚みにより堰が必要になる場合があります。
- 流し込み後、速やかにトンボ又は土間用コテで均してください。
- 均し・打ち継ぎ・仕上げまでの作業は連続して速やかに行ってください。(混練後、長く放置すると均した後のコテ・トンボ跡の馴染みが悪くなります。)
- 速硬タイプで閉塞の危険性があるため、長時間のポンプ圧送中断の回避、施工終了後のホースの早期片付け(20分以内厳守)に留意してください。

❺ 打ち継ぎ・補修・養生

- 打ち継ぎは15分以内に行ってください。
- 速硬タイプのため、軽歩行が可能になった直後に、打ち継ぎ部の処理を行ってください。軽歩行可能後、1時間以降は硬化が進行し、補修が困難になります。
- 養生期間中の重作業及び振動を加えることは避けてください。
- 硬化するまでは、窓を閉め、急激な乾燥を避けてください。
- 硬化後は窓を開け乾燥させてください。
- 季節の変わり目等、環境温度が大きく変動した場合や、施工条件によっては、硬化後、白華が発生することがあります。
- 白華が発生した場合は、乾燥後ポリッシャー等で取り除いてください。
- 仕上材の施工に際しては、乾燥状況を充分に確認してください。

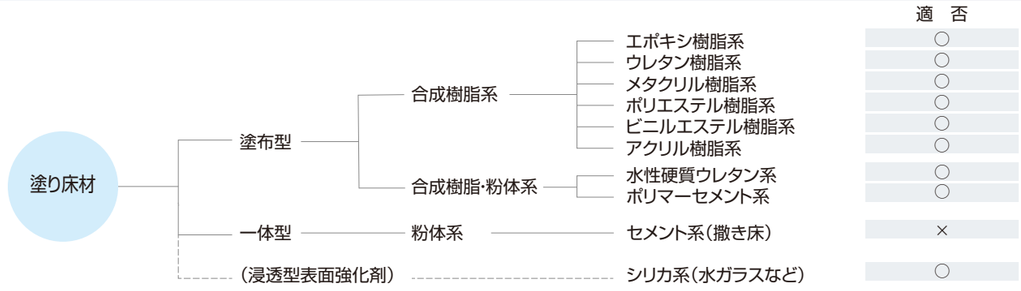
❻ 素地仕上げとして使用する場合の注意

- 構造的な目地や、下地クラックには追従する可能性があります。
- 気泡跡や色ムラおよび表層のヘアクラックは避けられません。

❼ その他

- 湿潤状態の下地には施工できません。
- 屋外等の直射日光が当たる場所での施工は避けてください。
- 下地コンクリートは打設後1ヶ月以上養生してください。
- プライマーの塗布やSL材の施工は、気温5℃未満では行わないでください。プライマー塗布からSL材の硬化までに気温が5℃未満になると考えられる場合は、適切な採暖を行ってください。
- 塗り床の施工は、塗り床ハンドブック(日本塗り床工業会)に従って実施してください。特にSL材表面の目粗し(サンドペーパー等)、塗り床用プライマーの塗布は必ず行ってください。
- 塗り床材特殊仕様(塗厚大、下地条件有等)の適用可否、特殊な下地、用途等ご不明な点については、弊社にお問い合わせください。
- 素地仕上げ、水性硬質ウレタン仕上げ、耐荷重シート下地、断面修復用として使用される場合は弊社に御相談ください。

塗り床材の適否



※水性硬質ウレタン系は弊社に御相談ください。